

## 教授会議事録

日時：平成30年6月12日（火）14時00分から16時15分

場所：電気通信研究所大会議室

議事に先立ち、議長から人事異動について報告があった。

前回議事録の確認

平成30年5月8日（火）開催の定例教授会議事録について承認した。

### I. 報告事項

#### 1. 学内外諸会議等報告

##### (1) 部局長連絡会議

議長から、5月15日（火）開催の部局長連絡会議・教育研究評議会について、配付資料により下記事項の報告があった。

- ①総長ビジョン策定に係る作業工程（案）
- ②指定国立大学法人構想に掲げる施策推進のための組織改編
- ③平成30年度監事監査計画書
- ④平成30年度内部監査基本計画書
- ⑤時間外労働縮減に向けた取り組み
- ⑥平成30年度東北大学入学状況（大学院）
- ⑦平成30年度科学研究費助成事業の交付内定状況（速報値）
- ⑧平成31年度学術システム研究センター新規研究員候補者の推薦
- ⑨平成30年度「東北大学女性教員採用促進事業」の概要
- ⑩東北大メールにおける添付ファイル代替手段・内容チェック機能の提供開始
- ⑪東北大学懇談会（萩友会プレミアム会員懇談会）
- ⑫一般管理費の契約額等（平成30年度）
- ⑬承継卒年俸制度適用状況
- ⑭東北大学オープンアクセスに関するパンフレット

##### (2) 産学連携先端材料研究開発センター（MaSC）運営委員会

産学連携先端材料研究開発センター（MaSC）運営委員会の下記事項について、配付資料により報告があった。

- ①本年度から通研がMaSCに参画することとなったこと
- ②MaSCのプロジェクトへの参加の有無にかかわらず、各種測定器等を格安で利用できること
- ③MaSCの主催する産学連携に関する各種イベントに参加できること

##### (3) 学際科学フロンティア研究所運営委員会

学際科学フロンティア研究所運営委員会の下記事項について、報告があった。

- ①新領域創成研究部の教員公募について各領域の選考委員を確認したこと

- ②各メンター教員のところへ派遣されている助教のテニユア准教授への昇任について審査方法を確認したこと、昇任する助教は1名で人件費の関係から今年度限りまでであること、次年度以降の助教の部局への展開については今後総長とともに考えていくこと
- ③今年度3年目となる助教の任用更新のための評価について確認を行ったこと
- (4) 研究大学強化促進事業実施委員会  
研究大学強化促進事業実施委員会委員長の下記事項について、配付資料により報告があった。
  - ①大学等の研究力の評価方法（大学別、分野別）
  - ②国際性を測る指標：国際共著論文率の問題と、新指標の提案
  - ③科学研究費補助事業採択データによる大学の強みや多様性の可視化
  - ④指標の注意点
- (5) 国立大学附置研究所・センター長会議総会について  
議長から、国立大学附置研究所・センター長会議総会の下記事項について報告があった。
  - ①文部科学省研究振興局学術機関課は、附置研、共同利用・共同研究拠点等を所掌し、大学の枠を超えた分野ごとの連携を進める組織であること。また、拠点活動の評価について、次のとおり紹介があったこと。  
S評価：全体の20%、A評価：全体の50%、BまたはC評価は全体の30%  
※ C評価の場合には拠点から外される可能性があり、外した分だけ増える可能性があること。
  - ②同課は共同利用・共同研究拠点の機能強化を考えており、国内外の研究者と連携し、国際的に顕著な成果、新しい研究領域、イノベーションを創出するような組織となるよう支援したいこと。
  - ③文部科学省研究振興局としては、他の国の大学は伸びているが、日本の大学は横ばいであり、原因はキャリアパスが不安定で若手研究者が減少していること、また、教員の実質的業務量の増加の実態があることの実態は把握していること。
  - ④同局及び文科省としては、大学の中・長期的な研究の重要性は十分に理解していること、教員が評価や競争的資金獲得対応に追われ疲弊していることも認識しているので、それを財務省等へ説明するには材料が必要なので意見を伺いたいこと。

## 2. 運営会議等報告

- (1) 安全衛生委員会及び安全衛生管理室  
下記事項について配付資料により報告があった。
  - ①安全管理に関する行事等について（現在までに決定されたもの）
  - ②安全衛生講習会の受講率について、教職員74%学生91%となっており、未受講の方はビデオを視聴し、受講率100%としたいので協力願いたいこと。

- ③応急手当講習会について、次のとおり開催されること。  
日 時：平成30年6月21日（木）  
場 所：本館3階 M311
- (2) (通研)安全保障輸出管理委員会  
安全保障輸出管理に関する教員全学講習会について配付資料により説明があり、ぜひこの資料を一読願いたいとの付言があった。
- (3) ナノ・スピンの実験施設運営委員会  
ナノ・スピン実験施設の予算案について、例年6月教授会に附議しているが、同実験施設の活性化策、施設設備の老朽化対応等審議を慎重に行うため、今年度は次回7月の教授会に附議するとの説明があった。
- (4) 学部教務委員会  
下記事項について配付資料により報告があった。  
①9月卒業の可能性がある学生（平成30年5月29日時点）について  
②コースキーワードの確認結果について  
③レベル判定試験（平成30年4月3日（火））の報告  
④各学生に関する  
「コース配属後（4セメ以降）の平均点」÷「コース配属前（3セメ）の平均点」  
のコース別の平均値について  
⑤先行履修許可と院試筆頭試験免除について
3. 電気通信研究機構について
4. スピントロニクス学術連携研究教育センターについて  
議長から、上記3. 及び4. の報告内容は配付資料に記載のとおりであるとの発言があった。
5. その他
- (1) 平成30年度教員個人評価について  
平成30年度教員個人評価について6月29日（金）を締切としているとのアナウンスがあった。
- (2) 運営協議会について  
議長から、今年度の運営協議会委員について、配付資料により報告があった。
- (3) 運営協議会コメントへの対応について  
運営協議会コメントへの対応について、配付資料により報告があった。なお、この対応にかかるこれからの広報戦略の展開に関連し、広報担当の職員（非常勤職員）の雇用を考えていることの付言があった。
- (4) 平成29年度所長裁量経費決算報告及び平成29年度通研間接経費受入れ報告について  
事務長から、平成29年度所長裁量経費決算報告及び平成29年度通研間接経費受入れについて配付資料により報告があった。

## (5) 2019年向け雑誌選定について

学術情報資料選定小委員会理工系WGについて、下記のとおり報告があった。

- ①ネイチャーフォトリクスの購入について、理工系以外の部局では数%の利用しかないことから、理工系での共同購入として進めることとした。
- ②エルゼビア社のScopusについて、現在の600万円から800万円に値上げ(2019年予想価格は845万円)することとなり、全学的基盤経費での負担から、他のデータベースと同様に以下の方法に見直す提案があった。

○1年目：2019年：利用者負担とする。(非共同)

→手を上げた部局で頭割り

○2年目：2020年：理工系WG等で共同購入を検討

→検討の結果共同で購入となった場合、利用者数で按分  
(試算によると20~30万)

この提案に対し部局照会があったことの説明があり、種々審議の結果、「教員ベースでは購入を希望しなくてもよいが、本学の自己評価や外部からの評価を高めるための資料として用いられ、購読を継続するのであれば相当部分を本部が負担すべきではないか」との意見に集約された。なお、これらの意見、その他の意見があれば、7月末までに末松教授までメールをいただくこととした。

## (6) 国際共同利用・共同研究拠点について

文部科学省から通知のあった「国際共同利用・共同研究拠点」について、本研究所は申請しないことの報告があった。

## (7) 研究成果発表確認シートの提出について

研究成果発表確認シートの提出について、提出のタイミング、提出すべき業績・成果等について、配付資料により報告があった。

## (8) 職員及び学生の受賞について

議長から、職員及び学生の受賞について、配付資料により報告があった。

## (9) 民間等との共同研究の受入について

議長から、民間等との共同研究の受入について、配付資料により報告があった。

## (10) 受託研究の受入について

議長から、受託研究の受入について、配付資料により報告があった。

## (11) 研究所等研究生の受入について

議長から、研究所等研究生の受入について、配付資料により報告があった。

## (12) プレスリリース等について

プレスリリース等について、配付資料により報告があった。

## II. 協議事項

## 1. 平成30年度外国人研究員(客員部門)の任用について

平成30年度外国人研究員(客員部門)の任用について、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

2. 教員の兼務について

議長から、教員の兼務について配付資料により説明があり、審議の結果、これを承認した。

3. 平成30年度予算配分書（案）について

議長から、予算配分方針の改正について配付資料により説明があり、これを了承した。次いで、議長から平成30年度予算配分書（案）の概要について、事務長から配分予算案の詳細について配付資料によりそれぞれ説明があり、審議の結果、これを承認した。

4. 共同プロジェクト研究費配分案について

共同プロジェクト研究費配分案について、共同プロジェクト研究採択一覧により説明があり、審議の結果、これを承認した。

5. 平成30年度やわらかい情報システムセンター予算案について

平成30年度やわらかい情報システムセンター予算案について配付資料により説明があり、審議の結果、これを承認した。

6. 部局間学術交流協定の締結について

下記部局間学術交流協定について提案があった後、配付資料により説明があり、審議の結果、これを承認した。

- ・台湾国立大学人工知能・先端ロボットセンターとの部局間交流協定の新規締結
- ・ポーランド科学アカデミー・物理研究所との部局間学術交流協定の更新

III. その他

1. その他

(1) 共同プロジェクト研究の第2期募集について

共同プロジェクト研究の第2期募集について配付資料により説明があり、応募願いたい旨付言があった。

(2) 仙台フォーラムについて

11月29日（木）仙台国際ホテルにおいて開催される仙台フォーラム2018について、配付資料により概要説明があった。

(3) RIEC Award について

第8回 RIEC Award について、7月20日（金）を締切として募集案内を行ったことの報告があり、この賞について各先生方のコミュニティー等に情報発信していただきたいこと、また、この賞に相応しい方を是非推薦いただきたいとの付言があった。

(4) 研究交流会について

今年度の研究交流会は8月31日（金）に開催されとの報告があった。

(5) メンタルケア講習会について

メンタルケア講習会について下記のとおり案内があり、是非受講していただきたいとの発言があった。

日 時：平成30年7月10日（火）13：20～14：00

場 所：1号館6階 大会議室

講 師：学生相談・特別支援センター 池田忠義教授

テーマ：学生の理解と対応について

(6) 来年度の共同プロジェクト研究の検討事項について

共同プロジェクト研究の申請方法について、研究代表者と通研対応教員が同じ場合があるが、共同プロジェクト研究は、本研究所を外部に開き広く共同研究を推進する趣旨であることから、できるだけ外部の研究者が責任者となり、所内教員が受入対応となるような研究体制で申請してほしいとの意見があった。

これについて種々意見交換を行った結果、制度化等を含め今後の検討については所長に一任し、然るべき会議等において検討を進めることとした。

(7) 次回開催日について

平成30年7月10日（火）14時から開催することとした。

以 上